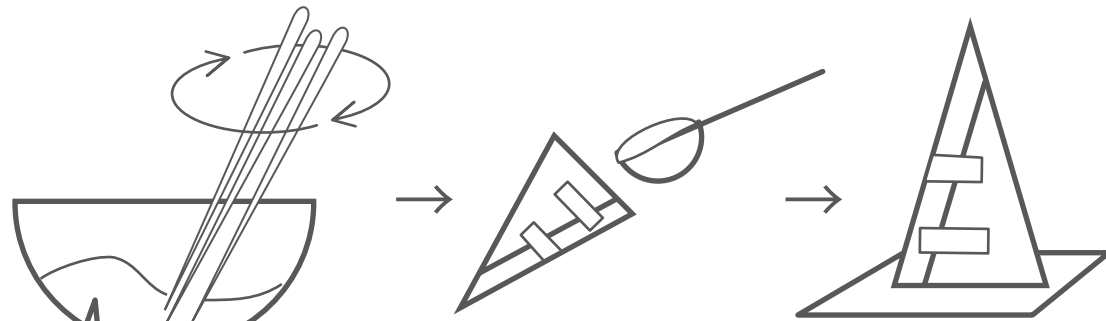


キャンドルを冷やし固めるには時間がかかりますが、ホイップし、空気を含ませることで作業時間を短縮できます。
また、空気を含ませると、溶けたキャンドルの温度が下がり、安全に作業が出来ます。



作り方 1 溶かしたロウに好みの色をつけ、をホイップして、筒型につめる。



ホイップは割り箸 3 本でよく混ぜる。
液体からみぞれ状になり、箸でまとまるような硬さに。そぼろ状になるまで混ぜる。

作り方 2 指で押し、硬くなってきたら針金でタコ糸の芯を通す。



芯が通ったら、よく冷やし固める。

作り方 3 トッピングをする。

再びロウをホイップする。今度はみぞれ状。



型からキャンドルを外し、みぞれ状のロウをつけ、
キャンドルで出来たトッピングを飾る。



雪をまとったような
キャンドルツリーの出来上がりです。



コラム ろうそく溶ける？融ける？

キャンドルはろうをとかしてつくります。その際に使う漢字は『溶ける』『融ける』ともに使われます。この漢字は固体が液体に変わることを意味しています。『溶ける』の方には、液体の中に物質が溶けている状態も併せて意味しています。卵を溶く、絵の具を溶く、ロウを溶かす。厳密に表すならば『融かしたロウにクレヨンを溶かす』という表現になるでしょうか？『融ける』という字は一般的ではないので、このレジュメでは『溶ける』と表現することにしました。